

新規事業事前評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	祝金支給人数	人	目標	0.00	0.00	250.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	祝金支給人数	人	目標	0.00	0.00	250.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	子育て世帯への経済的負担軽減を図ることができる。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が行うことが妥当である。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	対象者が限られているため評価は難しい。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか 令和5年度から開始される事業であることから、事業の周知徹底と制度の定着を図る。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☒ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 方向性の具体的内容 子どもが1歳を無事に迎えられるためには、養育者の並々ならぬ努力と子どもの育つ力の両輪があって達成できることであり、無事に1歳を迎えることができた子どもの誕生日をお祝いし、保護者を労うための祝金の支給は、子育て支援事業として開始する意義はある。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。